



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月26日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
 コード番号 9708 URL <https://www.imperialhotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月3日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 定保英弥
 (氏名) 杉山和久
 TEL 03-3504-1111

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	31,689	45.9	539	—	1,623	—	1,808	—
2022年3月期第3四半期	21,725	30.6	△6,810	—	△4,150	—	△4,155	—

(注)包括利益 2023年3月期第3四半期 1,893百万円 (—%) 2022年3月期第3四半期 △4,065百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	30.49	—
2022年3月期第3四半期	△70.05	—

(参考)EBITDA 2023年3月期第3四半期 3,711百万円 2022年3月期第3四半期 △1,935百万円
 (EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費)

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	60,095	39,626	65.9
2022年3月期	59,111	37,970	64.2

(参考)自己資本 2023年3月期第3四半期 39,626百万円 2022年3月期 37,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
2023年3月期	—	0.00	—		
2023年3月期(予想)				4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,100	50.6	300	—	1,500	—	1,700	—	28.66

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	59,400,000 株	2022年3月期	59,400,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	75,988 株	2022年3月期	75,988 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	59,324,012 株	2022年3月期3Q	59,324,012 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されたものの、ウクライナ情勢などを背景とした世界的な原材料や燃料価格の高騰などに加えて、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国景気を下押しするリスクとなるなど、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

ホテル・観光業界におきましては、政府・自治体による観光需要喚起策の実施、水際対策の緩和に伴う訪日外国人客の増加などにより、需要は回復傾向にありました。

このような状況のもと当社グループにおきましては、お客様を万全の状態でお迎えするために、サービス体制と安全対策を再確認し、SDGsに貢献する商品を開発・販売するなど、ブランド価値向上と売上げの最大化に努めてまいりました。

経費面におきましても、コストの見直しを継続して行い経費執行を最小限に抑えるなど、利益の確保に努めてまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比 45.9%増の 31,689 百万円となり、営業利益は 539 百万円、経常利益は 1,623 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 1,808 百万円となりました。

なお、2022年5月12日に公表した『中長期経営計画 2036』においてEBITDA（経常利益＋支払利息＋減価償却費）を定量目標の一つとしており、当第3四半期連結累計期間のEBITDAは 3,711 百万円となりました。

セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比 51.9%増の 29,293 百万円、営業利益は 939 百万円となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比 1.8%減の 2,403 百万円、営業利益は前年同期比 13.1%増の 1,009 百万円となりました。

当社グループが営むホテル事業は、第1四半期及び第3四半期に宿泊及び宴会需要が強くなり、売上高が多く計上される傾向があります。しかしながら、2021年3月期第1四半期連結累計期間以降、新型コロナウイルスの世界的な感染の影響により、例年の傾向とは必ずしも一致しない場合があります。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前連結会計年度末に比べて 1.7%増加し 60,095 百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて 6.4%増加し 33,185 百万円となりました。これは売掛金の増加などによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて 3.6%減少し 26,910 百万円となりました。これは投資有価証券の減少などによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて 3.9%減少し 6,544 百万円となりました。これは賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて 2.8%減少し 13,924 百万円となりました。これは建替関連損失引当金の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて 4.4%増加し 39,626 百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日付「2022年3月期 決算短信[日本基準](連結)」にて発表いたしました、2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2023年1月26日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,216	12,465
売掛金	1,666	3,567
有価証券	15,905	15,700
貯蔵品	619	910
その他	801	546
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	31,201	33,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,651	8,063
その他（純額）	5,361	6,498
有形固定資産合計	15,012	14,562
無形固定資産		
投資その他の資産	1,142	1,079
投資有価証券	6,134	5,645
その他	5,620	5,623
投資その他の資産合計	11,755	11,268
固定資産合計	27,910	26,910
資産合計	59,111	60,095
負債の部		
流動負債		
買掛金	832	1,562
未払法人税等	51	99
未払費用	1,934	1,826
前受金	812	806
賞与引当金	654	225
その他	2,527	2,023
流動負債合計	6,813	6,544
固定負債		
退職給付に係る負債	6,907	6,828
資産除去債務	1,010	1,014
長期預り金	3,997	3,934
建替関連損失引当金	1,993	1,750
その他	418	396
固定負債合計	14,327	13,924
負債合計	21,141	20,468

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	34,639	36,211
自己株式	△89	△89
株主資本合計	37,413	38,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	844	816
退職給付に係る調整累計額	△288	△175
その他の包括利益累計額合計	556	641
純資産合計	37,970	39,626
負債純資産合計	59,111	60,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	21,725	31,689
材料費	4,897	7,022
販売費及び一般管理費	23,638	24,127
営業利益又は営業損失(△)	△6,810	539
営業外収益		
受取利息	21	17
受取配当金	38	69
持分法による投資利益	35	91
雇用調整助成金	1,533	418
新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金	737	279
その他	293	208
営業外収益合計	2,660	1,084
営業外費用		
支払手数料	-	1
営業外費用合計	-	1
経常利益又は経常損失(△)	△4,150	1,623
特別利益		
建替関連損失引当金戻入額	-	223
その他	-	2
特別利益合計	-	225
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△4,150	1,848
法人税、住民税及び事業税	27	33
法人税等調整額	△22	6
法人税等合計	5	39
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△4,155	1,808
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,155	1,808

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△4,155	1,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△30
退職給付に係る調整額	116	112
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	2
その他の包括利益合計	90	84
四半期包括利益	△4,065	1,893
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,065	1,893

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(2022年6月27日提出)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りの仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,284	2,440	21,725	—	21,725
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	19,284	2,448	21,733	△7	21,725
セグメント利益 又は損失 (△)	△6,194	892	△5,302	△1,508	△6,810

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,293	2,396	31,689	—	31,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7	7	△7	—
計	29,293	2,403	31,696	△7	31,689
セグメント利益	939	1,009	1,948	△1,409	539

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。